

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



小樽商科大学広報誌

vol.194

2023 AUTUMN

GAKUEN DAYORI

小樽商科大学 学園だより



● CONTENTS ●

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 北海道国立大学機構の2つのセンター…………… 1 | 第71回緑丘祭を開催しました…………… 5 |
| 新任教員のご紹介…………… 2 | 飲酒について正しく知っておきましょう…………… 6 |
| 公益社団法人 緑丘会の紹介…………… 3 | 特別修学支援室と学生何でも相談室について…………… 6 |
| 令和5年度新入生歓迎講演会を開催…………… 4 | 国際交流室からのお知らせ…………… 7 |
| フレフレ商大、4年ぶりに小樽に…………… 4 | 編集後記/ブログ「商大くんがいく！」…………… 7 |

北海道国立大学機構の 2つのセンター



2022年4月1日に本学は帯広畜産大学、北見工業大学と経営統合し、新たに北海道国立大学機構を設立しました。設立に伴い、事前に準備を進めてきた教育イノベーションセンター（通称ICE）とオープンイノベーションセンター（通称ACE）も新たに発足しました。今回はこれら2つのセンターの概況について述べたいと思います。

北海道国立機構の大きなミッションである北海道経済・産業の発展への貢献を教育面で支え、3大学の教育面での連携の中心となるものが教育イノベーションセンターとなります。本学の鈴木副学長がセンター長を兼任し、また、多くの教員の方々が授業提供やプログラムの開発などに関わっています。同センターができる前から3大学間で遠隔教育の試験配信も行っており、コロナ禍でもその準備が活かされました。3大学は文理融合、異分野融合教育を標榜しており、昨年度は本学からも「社会科学入門」や「北海道産業論Ⅰ」など9科目を他の2大学に提供しました。一方、北見工業大学からは「数理データサイエンス概論」、「プログラミング入門」など4科目、帯広畜産大学からは「とがち学」、「農業とテクノロジー」など18科目が配信されました。履修者も1、2年生を中心に延べ数は6千人（自大学生を含む）を超えました。教育関係は統合前からの準備もあり、着実に実績を積み重ねています。

研究面での協力はオープンイノベーションセンターを中心に行っています。これまで各大学の産学官連携部門が個別に活動していましたが、これと並行して同センターでは3大学が協力できるプロジェクトをピックアップし、社会実装を目指しています。まだ数は少ないものの同センター自身の研究プロジェクトも開始され、また、今年4月に札幌ドームで開催された「環境広場ほっかいどう」へのブースの出展は同センターを中心に3大学が協力して行ったイベントとなりました。ステージでの学生（商大生2名と高校生1名）を相手にしたクイズ形式の授業などは工夫が凝らされており、各大学の特徴が出た大変興味深いものでした。また、多くの方々がブースに来場され、各大学や機構の取り組みの宣伝ともなりました。普段、3大学の教員が直接顔を合わせる機会はありませんが、この点でも教員間の交流を深めるきっかけとなったと思います。概算要求で機構全体の産学官連携や基金創設のための人材なども確保されたことにより、同センターのプロジェクトもこれから増加することが期待されます。

国立大学法人北海道国立大学機構
小樽商科大学長

穴沢真

新任教員のご紹介

①出身地(県・市) ②研究分野 ③担当授業科目 ④趣味
⑤商大に着任しての感想 ⑥商大生に期待すること



令和4年5月～令和5年4月に着任された、5名の教員の方々を紹介するよ！
みんな、先生方の名前と顔を覚えてね！



経済学科 ^{たなか}田中 ^{しんや}晋矢 准教授

- ①千葉県千葉市 ②計量経済学、応用計量経済学 ③統計学、計量経済学、演習(ゼミ)等
- ④ギター弾き語り
- ⑤私は5年ぶり2度目の商大着任であり、その間に三大学経営統合を中心とした大きなイベントがありましたが、商大の雰囲気や学修・研究環境は維持されており嬉しく思いました。
- ⑥商大生の多くは道内出身であり、北海道に愛着を持ち生涯を北海道で過ごしたいと考えている人も多いことでしょう。しかしながら北海道は日本の一部であり世界の一部でもあります。そのため皆さんには在学中も卒業後も常に“act locally but think globally”の精神をもって行動して頂けることを期待します。



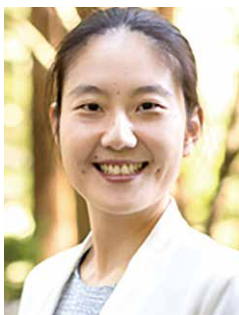
言語センター ^{おほ}於保 ^{あつし}淳 准教授

- ①広島県広島市 ②理論言語学、意味論、語用論 ③英語、英語学、言語学
- ④スポーツ観戦、パン屋巡り、コーヒー
- ⑤小粒でもびりりと辛いという印象です。それからオフィスからの眺めが素敵です。
- ⑥自分から動いてみてください。予想以上に得られることがあると思います。



言語センター ^{いしかわ}石川 ^{ともかず}友和 准教授

- ①秋田県横手市
- ②応用言語学(多言語主義の英語教育、異文化・超文化コミュニケーション、共通語としての英語と脱植民地的思考)
- ③英語、英語コミュニケーション、比較文化、英語科教育法、研究指導、異文化コミュニケーションの基礎
- ④クラシック音楽(作曲、ピアノ演奏)、妻と散歩
- ⑤地域に根付いた大学、フラットで建設的な機関という印象です。職種や学科等の垣根を越えて、皆様から学ばせていただきたく存じます。学生も人懐こく、赴任直後は彼らからも商大や小樽について教えてもらいました。
- ⑥挑戦多き学生生活を送ってください。現状やしがらみを打破する覇気をもって、それぞれの夢へと邁進してください。私も全力で応援します。



言語センター ^{おおさわ}大澤 ^{ゆき}幸 准教授

- ①神奈川県横浜市 ②日本文化・表象文化(映画、アニメ、漫画)
- ③上級日本語、日本事情、交換留学生向け日本語 ④マリンスポーツ(ウィンドサーフィン、SUPなど)
- ⑤自然に囲まれた美しいキャンパスで、様々な分野で活躍されている先生方、職員の方のサポートを受けながら、多様なバックグラウンドを持つ学生と「学問する(問うて学び、学んでまた問う)」喜びを感じています。
- ⑥学部卒業後、カナダの大学院で学び、その後カナダやアメリカの大学で働いてきました。その度に知らなかった世界や価値観に出会い、困惑したこともありますが、自分の世界観を広げることができました。学生であるみなさんにとって、大学4年間は人生で特別な時間です。「Work hard, play hard」の精神で充実した学生生活を送ってください！



グローバル戦略推進センター グローバル教育部門 ^{りょうこ}デバークヒラベ良子 准教授

- ①千葉県千葉市 ②応用言語学 ③グローバルコース関連科目、英語
- ④カラオケ、音楽鑑賞(Coldplayが大好き)、読書(幕末関係)
- ⑤緑豊かな環境が好きです。学生が交換留学や語学研修で海外を体験できる機会が豊富だと思います。
- ⑥授業では遠慮せず、積極的に発言、質問してください。後悔のない大学生活を送ってください！

公益社団法人 緑丘会の紹介

公益社団法人 緑丘会 常務理事 事務局長
永井 健夫 (1976年卒業)



学生の皆さん、こんにちは。コロナ禍も少しずつ穏やかになり、対面授業やクラブ活動も開始され学園生活に光明が射してきたように感じております。

是非とも明るく元気に充実した学園生活を過ごされるよう心より願っております。

さて、これから小樽商科大学同窓会『緑丘会』の紹介をさせていただきます。

緑丘会は小樽商科大学卒業の同窓生で組織されており、80年以上の長い歴史と伝統を持ち学生支援の為の大学への助成や卒業生間の親交を深めて参りました。

緑丘会は大きく三つの活動を行っております。

一つ目は学生への就職支援です。毎年200社以上の企業を大学にお招きして行う就職活動のための「企業等セミナー」を学生支援課と協力して実施しています。

また、学内に就職支援室を設置し、商大OB・OGによる就職に関する相談をお受けしております。

更には、皆さんのキャリア形成の一助としてエバーグリーン講座の内容をまとめた「社会人基礎力白書」の発行も行っております。

二つ目は資金援助です。TOEIC・IPテストの受験費用、エバーグリーン講座への資金援助、就活のための無利子での資金貸与、留学生への奨学金授与などを行っており、公益財団法人小樽商科大学後援会と併せて年間2,000万円以上の助成を行っております。

三つ目はOB・OGによる講座の提供です。「エバーグリーン講座」と「グローバルマネジメント副専攻プログラムⅡ」へ講師派遣を行っております。

また、これ以外にも同窓会報『緑丘』を年2回発行しており、賛助会員でもある学生の皆さんにも郵送しております。この会報には若手OB・OGや学生が執筆するコーナーがありますのでご寄稿をお待ちしております。

ここまでは、皆さんが在学中に緑丘会と関わる内容ですが、卒業後は同窓生同士の交流や人脈を拡げる場が用意されております。北海道、東北、関東、東海、京阪神、福岡など全国に24の支部があり卒業後の皆さんをお待ちしております。各支部では講演会、芋煮会、ジンギスカンパーティー、忘年会、新年会、女子会など各種イベントで皆さんをお迎えし研鑽・親睦を図っております。特に6年前からは東京にて主に平成二桁卒業以降の若手を対象とした「緑丘ビジネス塾」を開講しております。各界で活躍されている同窓の先輩が講師となり、社会人としてのキャリアアップの為に示唆に富んだメッセージを語ってくれます。また、様々なテーマのもと若手を中心としたパネルディスカッションなども行っております。一方、札幌支部では若手OB・OGが講師となり「オンラインセミナー」を実施しております。

『小なれど固い絆の同窓会』です。就活やプライベートでも東京に来られる際には、日本一高い場所にある、「池袋サンシャイン60」57階の緑丘会館まで気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同お待ちしております!!

令和5年度

新入生歓迎講演会を開催

令和5年6月1日(木)に、令和5年度新入生歓迎講演会を開催しました。この講演会は、これからの大学生活をいかに過ごすかを考える機会を提供することを目的として実施しているものです。

今回は、穴沢学長が「商大とは」と題して、小樽商科大学の歴史や大学で学ぶということの意味について講演を行い、これからの大学生活で様々な経験を積み、社会へと旅立っていく学生に向けて、力強いエールを送りました。

また、穴沢学長からの講演後、小樽・北しりべし消費者センター相談員の齋藤智子氏から「消費者被害について」をテーマにご講演いただいた後、片桐学生支援担当副学長からは「安全な大学生活のために」として、カルトやハラスメントについての注意喚起が行われました。

今回の講演会は、同時間帯に通常開講している1年次担当科目の代替講義として実施され、オンデマンド受講も含めて約500名が受講しました。



穴沢学長



小樽・北しりべし消費者センター相談員・齋藤智子氏



片桐学生支援担当副学長

フレフレ商大、4年ぶりに小樽に

小樽商科大学 第一〇九代応援團團長 小笠原 廉

応援團は7月2日(日)小樽市内のサンモール一番街にて『第一〇九回 対北大総合定期戦対面式』を挙行了しました。コロナ禍を経て、4年ぶりとなった小樽での対面式には、学内・市内・さらには道内外から多くの人々が訪れ、商店街を埋め尽くしました。

第一〇九代応援團は7月当時の現役4名に加え、今回は学内から7名、OBから7名が新参役、学ランとして参加し、結果的に総勢18名の大所帯で北大応援団と対峙しました。

式は両校の校歌交換・参謀エールより盛大に始まり、花束交換の後、舞型披露にて北大は「不知火拳」を、商大は「胡蝶の舞型」をそれぞれ披露しました。そしてクライマックス、北大挑戦状と商大応戦状。応戦状では、商大生の鼓舞、北大へ向けた言葉に加え、4年ぶりに小樽で対面式ができる喜び、この日のために集まってくれた商大生ならびに商大OBへの感謝を声高らかに読み上げました。最後は寮歌交換・団旗エール、会場の皆で一体となって厳かに寮歌「若人逍遥の歌」を歌い、副団長の伸びやかなエールと共にえんじ色の団旗が力強く翻って式を締めくくりました。

商大における北大との総合定期戦は100年以上の長い伝統があり、対面式もまた然りです。コロナ禍の影響で団員が激減した現在でもこの伝統が続いており、第一〇九代の団長としてまたひとつ歴史を紡ぐことができたことを誇らしく思っております。

終りになりますが、対面式を挙行するにあたり、多くの商大生・OB・そして小樽市の皆様のご協力を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。



第71回緑丘祭 第32回緑宵祭



6月22日～23日に第32回緑宵祭(夜間主コースの大学祭)が、6月24日～25日に第71回緑丘祭(昼間コースの大学祭)が開催されました。今回は、そのうち緑丘祭について取り上げています。新型コロナウイルスによる制限解除後初で、大盛況となった緑丘祭。一体どんな舞台裏があったのでしょうか？今回は緑丘祭実行委員会委員長、星 優輝さんに今年の緑丘祭について語っていただきました！

緑丘祭のテーマ「青樽(あおたる)」について語っていただけますか？

第71回緑丘祭のテーマ「青樽 -aotaru-」には、青春のような爽やかで鮮やかな時間を小樽で味わってほしい、という想いが込められています！



新型コロナウイルスによる制限解除後、初の大学祭となりましたが、盛り上がりはどうか？

今年は2日間合わせて昨年の来場者数を900人近く上回る約3,300人の方にお越しいただき、大盛況のうちに終了することができました！ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。



準備から大学祭当日までの中で楽しかったこと・大変だったことはありますか？

やはり緑丘祭当日が一番楽しかったと感じます。ちょっとしたトラスルもあり大変さも一番でしたが、達成感が大きくとても良い思い出です！

それでは最後に、緑丘祭の魅力！と、これからの緑丘祭について語っていただけますか？

緑丘祭は長年引き継がれてきた伝統に加え、委員全員で新たなチャレンジをすることで毎年様々な魅力に溢れていると思います！

今回の第71回緑丘祭で私たち3年生は引退となりますが、現在在籍している約60人の1、2年生で第72回緑丘祭へ向けて活動が始まりつつあります。最高のメンバーたちが創り上げてくれるこれからの緑丘祭にもぜひご期待ください！



星 優輝さん、素敵なお話をありがとうございました！



飲酒について正しく知っておきましょう

**お酒を飲んでは
いけない人**

20歳未満の人

**アルコールの分解
ができない人**

**自動車やバイク、自転車の
運転をこれからする人**

**飲酒運転は
厳禁です。**

代謝が未熟でアルコール中毒になりやすい、短期間で依存になりやすい、性機能の低下の他、様々な心身への悪影響があります。

ALDH（アルデヒド脱水素酵素）の活性がない人。体内に途中の分解産物のアセトアルデヒドがたまってしまいます。

これらに該当しなくても、自分で「飲まない」と決めている人にお酒を進めるのはアルコールハラメントになりますので飲まない人の意志を尊重しましょう



**お酒に
まつわる
誤解**

**誤解
その1**

お酒は飲んでいるうちに鍛えられて、たくさん飲めるようになる

アルコールの分解能力は上がりませんので身体への悪影響は低減しません。長期間の飲酒で脳がマヒして感度が低下し、同じ量では酔ったように感じにくくなる（＝耐性という）状態になっているだけです。飲酒量が増え依存症や中毒になる危険な状態です。



**誤解
その2**

適度に飲んだ方が体にいい

アルコールとアルコールの分解産物であるアセトアルデヒドは発がん物質です。飲酒量が増えるとがんのリスクが増加します。事故（交通事故、転倒事故など）のリスクも飲酒量が増えると増加します。適度に飲むとリスクが下がる、というのは心血管疾患で示されたことで、40－50代で行われた研究の結果です。心血管疾患になる危険性よりも、飲酒による事故の危険性が高い大学生の年代では飲まない方が健康的と言えます。



**あなたの飲酒は
大丈夫？**

自分の飲酒行動が健康を害するような状態になっていないかどうかを確認する AUDIT というテストがありますので、飲酒をする人はチェックしてみましょう。テストは次のサイトで見ることができます。

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-021.html>

特別修学支援室と学生何でも相談室について

本学には学生対象の相談室が2つあります。ひとつは障がいのある学生を対象とした「特別修学支援室」、もうひとつは大学生活全般の悩みに対応する「学生何でも相談室」です。

特別修学支援室は、障がい（身体障がい、発達障がい、精神障がい等）のある学生の皆さんが大学で充実した学びができるよう支援するための部署であり、授業担当教員や学内外の各部署と連携して必要な教育的配慮を計画・実行していきます。障がいの有無が明確ではない場合であっても相談可能であり、情報提供等を行っています。

もうひとつの**学生何でも相談室**には心理カウンセラーがおり、学生生活上の悩みにアドバイスをを行います。相談の内容は、自分の性格に関すること、友人関係や恋愛関係に関すること、部活・サークルに関すること、アルバイトに関すること、学習・進路に関することなど多様です。「こんなこと相談していいのかな」などと心配する必要はありませんので、悩みの解決のための一つの選択肢として、気軽に利用していただきたいと考えています。

両相談室の開室時間や予約方法については状況により変更の可能性がありますので、下記のウェブサイトをご確認ください。

特別修学支援室

https://www.otaru-uc.ac.jp/special_support/

学生何でも相談室

<https://www.otaru-uc.ac.jp/student/counseling/>



国際交流室からのお知らせ

国際交流室では、年間を通じて、学生のみなさんへ向けて各種留学の説明会や留学報告会、国際交流イベントを開催しています。10月23日（月）～27日（金）には「国際交流週間」が開催されますので、留学・国際交流に興味のある方はもちろん、これまであまり興味がなかった方も、ぜひ積極的にご参加ください。



○国際交流週間とは？

10月下旬に行われる、商大の国際交流イベントで、一週間を通して様々なイベントが催されます。昨年は商大の留学制度について説明する留学説明会や、留学から帰ってきた商大生の留学報告会、協定校からの交換留学生による協定校紹介、留学生が作成した文化紹介ポスターの掲示が行われました。オーストリアから来た留学生からはオーストリアの文化紹介も行われ、オーストリアのパンケーキ「カイザーシュマーレン」がふるまわれる特別なイベントとなりました。



今年の開催スケジュールは、後日 manaba でご案内します。お楽しみに！



編集後記

今回も多くの方にご協力いただき、無事学園だよりが完成しました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も、商大生の活動の様子やさまざまな情報を発信していきますので、掲載してほしいトピックがありましたら、学生支援係までご連絡ください！

(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を発信！

ブログ「商大くんがいく！」

商大職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく！」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

http://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/

